

■現状と課題

震災と原発事故の影響により、市内事業者や就労者は大きく減少しており、依然として震災前の水準には及ばない状況です。

このため、福島イノベーション・コースト構想におけるイノベ重点分野等の市外事業者の誘致を継続するとともに、福島ロボットテストフィールドや福島国際研究教育機構（F-REI）との連携を強化した産業の集積・振興が必要です。

小高区においては、企業に供給できる産業用地が少ない状況にあることから、新たな産業団地の整備により、新規企業の誘致、新産業の創出・育成の支援や、地域産業の振興を図ってまいります。

1. 飯崎産業団地整備事業

- 飯崎地区の旧金房小学校と旧西部グラウンドの約3.3ヘクタールについて、産業用地の整備を進めています。
- 令和5年7月に旧校舎・園舎、グラウンド施設等の解体工事に着手しており、令和6年4月には供用できる予定です。

2. 小高復興産業団地(フロンティアパーク)整備事業

- 岡田地区の国道6号東側に、敷地面積約23ヘクタール、産業用地面積約14ヘクタールについて、産業団地の整備を進めています。
- 現在は、第1期工事分の約13ヘクタールの整備について、令和6年3月の工事着手に向けて、必要な手続きを進めています。



▲小高区産業団地位置図